

矢部正子 悲劇の夭折歌人。

やべまさこ

徳川吉宗隠居1745 = 美濃国本巢郡北方に生まれる。父は矢部善左衛門佳政，母は美濃国枝氏の出。幼名久子。

徳川吉宗没・1751 = 6歳：

山脇東洋解剖1754 = 9歳：

大岡忠光没・1760 = 15歳：安八郡結の大平光二と結婚，1女を挙げたが，

・・・・・・1763 = 18歳：\_夫が他の女に通じたのを怒り，娘を連れて実家に帰る。

\_母・兄とともに京都に移り，小沢蘆庵に和歌を学び，茶の湯・香・礼法・薙刀の修行をする。頼山陽・菅茶山・上田秋成・本居宣長・加藤千蔭・伴蒿蹊らと交わる。

・・・・・・1770 = 25歳：\_細川家の求めに応じて江戸に下り，姫に和歌・書・薙刀などを教える。10人扶持金5両と呉の名をもらう。

細川家の知遇が同輩をしのいでいたため，嫉妬を買い気苦労が多く，

御蔭参流行・1771 = 26歳：\_突然耳が不自由となる。薬で治ったが心が晴れず，宮仕えをやめ，京都に戻ろうとするが，人々におし止められ，100人余りに和歌を教えて暮す。

田沼意次老中1772 = 27歳：\_類焼で家を失い，京都に戻る。尼となり，恵静と号したが，京都に残した娘が病気で亡くなり，

大原騒動・・1773 = 28歳：\_そのあとを追うように，没した。